



KUSHIRO WEST ROTARY CLUB 2016~2017 (平成27年~28年)

釧路西ロータリークラブ会報

創立 昭和45(1970)年6月8日 承認 昭和45(1970)年6月10日

2016~2017 RI テーマ 「人類に奉仕するロータリー」



《例会日：毎週月曜日 12:30~13:30》

《例会場：ANAクラウンプラザホテル 釧路市錦町3-7》

会長 小泉 和史 幹事 松田 正昭

■クラブ事務所■

釧路市幸町14丁目1-1 ノースコートサンスイ2F

TEL(0154)23-6175 FAX(0154)23-6123

《本日のプログラム》 11月28日 12:30

普通例会

クラブフォーラム 積立金の名称変更・活用方法について

《次回のプログラム》 12月5日 12:30

普通例会

年次総会 次年度理事・役員選出

2016年11月28日(月) 第18回 通算2161回

【点 鐘】 小泉会長

【ロータリーソング斉唱】



「それでこそロータリー」

ソングリーダー：小栗会員

【会長挨拶】 小泉会長



みなさん、こんにちは。日増しに寒くなってまいりましたけれど、早いもので、今年も残すところ1ヶ月余りとなりました。今年もインフルエンザが全国的な流行期に入りましたが、私も先週ワクチン接種を受けようと数件病院に電話しましたが、一番早くて12月8日と言われました。今季の流行開始は昨季より1ヶ月半ほど早く、過去5年間で最も早いみたいです。本日で財団月間の寄付金の受付は締切させていただきますが、会員みなさまには、大変ご協力をいただいたことに深く感謝申し上げます。

のちほど、各委員会の方から改めて、ご案内が

あると思いますが、上期分として、来年 1 月 14 日(土)にジャスコにて献血奉仕活動を実施させていただきます。また、1 月 21 日(土)は第 35 回釧路西ロータリークラブ会長杯柔道大会が行われますので数多くの会員みなさまの応援よろしくお願い致します。本日の例会は、クラブ奉仕担当で、クラブ積立金の名称変更の必要性と今後の活用方法についてですが、家庭集会では、各班色々なご意見が出たと思いますので、発表者の方の熱弁を期待しております。以上で会長挨拶とさせていただきます。

【幹事報告】 松田幹事



- ・ 12 月のロータリーレート、1 ドル=106 円。
- ・ 釧路ロータリークラブより、80 周年記念式典・祝賀会開催につきまして御礼の文書が、木下会長、尾越実行委員長の連名にて届いております。
- ・ 去る 9 月 10・11 日に行われました「ライセミナー in るべしべ」の報告書が、ホストクラブの留辺薬ロータリークラブより届いております。

・ 当クラブからは平新世代委員長がオブザーバーとして帯同し、(株)ジャパンプランニング職員の 星智也君の参加をいただいております。

【委員会報告】

◎例会運営委員会 高田委員



12 月プログラムについて

◎ロータリー財団委員会 山本委員長



- ・ 財団寄付会員 18 名。
- ・ 今年度ポールハリスフェロー。小泉会員・金田会員・三木会員
- ・ クラブ委譲可能認証ポイント 2458p あり。
- ・ 認証ポイント（半額相当）を利用して、ぜひ多くの会員にポールハリスフェローになっていただきたい。

【本日のプログラム】

◎クラブフォーラム 家庭集会発表「積立金の名称変更・活用方法について」

司会 クラブ奉仕委員会 佐藤委員長



第1班報告者 小栗会員



1班は11月22日午後6:30から、はたご屋にて張江会員、加藤会員、松田会員、櫻田会員上杉会員、小栗の計6名で家庭集会を行いました。『クラブ積立金の名称変更の必要性と今後の活用法について』話し合いをし、その中で世界社会奉仕事業基金の名称変更をしたらどうかという意見がありました。しかし名称変更をして取り崩し自由とすれば基金があつという間に無くなってしまふ懸念があるので、名称自体はそのまま残し、必要性がある場合には

理事会にて使用可能を計り 50周年の時に改めて名称変更等するのが良いのではないかという結論になりました。

第3班報告者 平 会員



平成28年11月22日 18:30より、三笠飯店にて、参加者 佐藤会員・山本会員・大場会員・吉田会員・杉野会員・三木会員・平の7名で行いました。

積立金5項目の原資はニコニコ献金による50周年事業にいかほど費用がかかるのか〜やり方次第だが、現在積立金額では不安もある。三宮会員は、世界奉仕基金分を100万残し、残金は50周年事業費に積み増したら良いのではないかとおっしゃられていた。大場会員は

同じく世界奉仕分を100万残し残金はクラブ事業基金に算入したら良いのではという案。クラブ事業基金は運営資金として柔軟に活用したらよいのでは（鐘破損の購入費用など）。世界奉仕分は、西クラブ単独事業では規模も予算も厳しいので、第7分区全体で提案をし拠出すべきで

は。災害等の寄付金拠出は社会奉仕基金から出してもよいのでは。IM 準備金は足りるのか～当面は足りる。使いみちはガバナー補佐各地訪問時のニコニコ献金・打ち合わせ時の費用など。積立金全体として、金利も低く柔軟性に欠けるので、定期預金ではなく普通預金にしたほうがよいのでは。との意見が出ました。理事会及び総会でご判断ください。

《例会運営委員会》

11月28日	在籍数	17名		「編集:三木委員」
	出席者	28名	欠席者 11名	出席率 60.7%

(修正出席率 75.0%)

会報委員長: 三木 克敏 副委員長: 杉野 史和
委員: 大場 恵治 那知 哲 坂口 裕二 菊地 康平 高田 智弘 小栗 直也